

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【公表番号】特表2010-515810(P2010-515810A)

【公表日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2010-019

【出願番号】特願2009-545657(P2009-545657)

【国際特許分類】

C 08 L 23/16 (2006.01)

C 08 K 5/1565 (2006.01)

C 08 J 5/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/16

C 08 K 5/1565

C 08 J 5/00 C E S

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月7日(2011.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

500  $\mu$ mから2.0mmの間の壁厚を有する射出成形品を製造するために好適な組成物であって、

(A) 実質的にアイソタクチックなプロピレン配列を有する、2重量%から15重量%のプロピレン-エチレンコポリマー、ただし、前記プロピレン-エチレンコポリマーは、

(1) 少なくとも75重量%のプロピレン由来ユニット及び約11重量%から18重量%のエチレン由来ユニット

を含み、

(2) 前記プロピレン-エチレンコポリマーは4グラム/10分から30グラム/10分のメルトフローレートを有する；

(B) 2.0重量パーセントから5.0重量パーセントのエチレン含有量、25グラム/10分から130グラム/10分のメルトフローレートを有する、85重量%から約98重量%のランダムポリプロピレンコポリマー(ただし、ブレンド配合物のメルトフローレートは20グラム/10分から125グラム/10分である)；及び

(C) ランダムポリプロピレンコポリマー(B)の重量に基づいて500重量ppmから2500重量ppmの核形成剤/清澄化剤添加剤

のブレンド配合物を含み、

ただし、前記組成物のメルトフローレートが20グラム/10分から125グラム/10分であり、かつ、射出成形品の厚さ1.6mmの断片が、

(1) 少なくとも7.5J/mmのISO6603による室温(23)ダート衝撃強さ；

(2) 20MPaから30MPaの間のISO527による引張降伏強さ；

(3) 少なくとも0.43J/mmから0.75J/mmの、ISO6603による0°ダート衝撃強さ；及び

(4) ASTM1003による50%未満のヘイズ値

を示す、組成物。

【請求項 2】

前記プロピレン - エチレンコポリマーが 3 . 5 未満の分子量分布 ( M<sub>w</sub> / M<sub>n</sub> ) を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記核形成剤 / 清澄化剤添加剤がソルビトール系の核形成剤 / 清澄化剤である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

均質なエチレン - - オレフィンインターポリマーをさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載される組成物を含有する、500  $\mu\text{m}$  から 2 . 0 mm の間の最小壁厚を有する薄肉射出成形品。